

第45回議会力向上会議記録（抄）

（2. 7. 27）

一、協議事項について

冒頭、当会議の座長に議会運営委員会委員長の西村昭三議員が、副座長に議会運営委員会副委員長の西哲史議員が就任する旨の報告があった。

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

（別紙各資料参照）

1. 今年度の協議項目及び年間スケジュールについて（資料1 参照）

今年度、議会力向上会議で協議すべき案件と年間スケジュールについて、正副座長案が示された。

【協議結果】

正副座長案（原案）を了承し、合意されたスケジュール案で進行することとした。

2. 議会審議の見直しについて

昨年度試行した「代表質問」、「予算・決算審査特別委員会」の審議方法について、8月定例会においては昨年度と同様の審議方法で再度試行し、定例会の終了後に検証を行うことについて各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

8月定例会の初日議運で確認した上で、8月定例会においても昨年度と同様の審議方法で試行し、定例会終了後に検証を行うこととした。

3. 議会報告会について（資料2及び資料3 参照）

座長より、今年度の開催方法等を協議するにあたり、たたき台（資料2）が示され、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	異論はない。
公明党 堺市議団	会派内の意見も聞きたい。
自由民主党・ 市民クラブ	異論はない。
堺創志会	異論はないが、新型コロナウイルス感染症の影響等により議会報告会を中止又は延期などする場合には参加者にできるだけ早く伝えるなどの配慮をお願いしたい。

日本共産党 堺市議会議員団	異論はないが、対象者として「堺市在住・在勤の主に医療・介護・福祉関係事業に従事している方」とあり、「主に」と記載されているのは、医療等従事者以外の一般市民も対象に含むと解する。
長谷川俊英議員	異論はないが、医療、介護等の話を聞く場であれば議会報告会ではなく、懇談会のような形がよいのではないかと。また、議会報告会に参加を希望する一般市民は参加対象とすべきである。

【協議結果】

開催方法については各会派等に持ち帰って検討し、次回の会議において引き続き協議することとした。また、開催日時については、11月22日（日）を第1候補日、11月23（月・祝）を第2候補日とし、新型コロナウイルス感染症の拡大等で11月開催が困難な場合は、2月7日（日）または2月11日（木・祝）の開催で調整することとした。

4. 政務活動費運用指針の見直しについて

(1) ボランティア保険料への政務活動費の充当について

令和2年1月27日開催の会議で、改めて協議することとしたボランティア保険料への政務活動費の充当について、本件提案者である長谷川議員から、今回契約したボランティア保険の仕組みや内容等について説明があり、その後各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

本件については、当該ボランティア保険が記名または無記名方式の場合の是非を含めて、各会派等に持ち帰って検討することとした。

(2) 現行の政務活動費運用指針について

5月26日の議会運営委員会において、公明党堺市議団議員より、実態にそぐわない部分が生じているとして提案のあった運用指針の見直しについては、次回の会議において提案者である公明党堺市議団から課題等について提示し、改めて協議することとなった。

5. ペーパーレス化の推進について（資料4 参照）

前回会議で前向きに進めることとしたペーパーレス化に関し、ペーパーレス化の対象となりうるものを整理した資料4に基づき、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	可能なものは進めていただきたい。 希望する議員には紙ベースの資料を配付すればよい。
公明党 堺市議団	可能なものは進めていただきたい。 会派控室に来なくても自宅のパソコン等で議員向け資料、庁内LANポータルサイト掲載の資料を閲覧できる方法も検討していただきたい。

自由民主党・市民クラブ	可能なものは進めていただきたい。
堺創志会	異論はないが、ペーパーレス化の推進は環境負荷の軽減と同時にコスト削減も目的としているので、取り組みを進める上で追加的に大きなコストが発生する場合は十分に精査してほしい。
日本共産党堺市議会議員団	可能なものは進めていただきたい。
長谷川俊英議員	異論はないが、個人としては例えば議運抄、会議録については、紙ベースの資料の方が内容を認識しやすいので、配付を希望する。

【協議結果】

本件については、本日の意見等を踏まえ、各会派等に持ち帰って検討し、次回の会議において引き続き協議することとした。また、事務局において、直ちにペーパーレス化できるものについて、その手段を整理した資料を作成することとした。

6. 事業見直しに関する提案について

前回会議で各会派等に持ち帰って検討することとしていた事業見直しに関する提案について各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

各会派等に持ち帰って検討し、次回の会議において引き続き協議することとした。

7. 堺市議会業務継続計画（BCP）の点検・見直しについて

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、議会として堺市議会業務継続計画（BCP）に基づく「堺市議会災害対策会議（BCP会議）」を初めて設置し、対応した。

今回の対応を踏まえ、同計画の修正の必要性などに関し、ワーキンググループを設置し、点検・見直しを行うことについて、各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

議会力向上会議の構成議員から各会派1名を選出し、ワーキンググループを設置して議論を進め、来年1月末までを目途に見直し案をまとめることとなった。なお、ワーキンググループは業務継続計画策定時と同様に非公開とし、ワーキンググループの開催頻度は同グループに一任することとした。また、座長には前回と同様に裏山議員が就任することとした。

（ワーキンググループ構成議員）

大阪維新の会堺市議会議員団	上村太一
公明党堺市議団	裏山正利
自由民主党・市民クラブ	山口典子

堺 創 志 会	浜 上 猛 志
日本共産党堺市議会議員団	森 田 晃 一

8. その他

浜上議員より、本市議会議員が作成する議会活動報告チラシを中央図書館に所蔵・配架してはどうかとの意見があり、各党派等に持ち帰って検討し、次回の会議において協議することとした。

9. 第46回議会力向上会議の開催日時について

令和2年8月19日（水）の議会運営委員会の終了後に開催することとした。